

令和 元年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生きがい推進課、文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	223,472,203円(令和元年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R01 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期
利用者数(単位:人)		81,752	106,812	89,404	113,653	91,423
各室稼働状況(%)	大研修室	80.8	88.8	81.4	87.1	87.6
	中研修室	88.1	93.5	92.7	94.7	94.4
	研修室50	85.3	91.8	91.0	90.6	90.4
	研修室30	96.0	97.6	95.5	94.1	96.0
	小研修室1	96.6	98.8	98.3	98.8	98.9
	小研修室2	96.6	96.5	96.6	97.1	96.6
	小研修室3	97.2	95.9	95.5	92.4	92.7
	小研修室4	94.9	99.4	98.3	97.1	96.6
	和室研修室1	28.2	44.1	26.0	42.9	36.2
	和室研修室2	94.4	95.9	93.2	97.1	93.8
	音楽スタジオ大	90.4	93.5	90.4	91.2	88.7
	音楽スタジオ小1	77.4	88.2	81.9	87.1	81.4
	音楽スタジオ小2	48.6	58.8	66.7	61.2	58.8
	パソコンルーム	83.1	81.2	78.5	84.1	81.4
	クラフト室	79.7	90.0	78.5	82.4	84.2

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を行っている。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聴き、可能な限り迅速に対応している。

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成、顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤芸術文化による地域活性化 ⑥新たな協働による芸術文化の振興	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー3講座、248人受講。ITコラボレーター会との協働でパソコン講座(13講座各7回)開催。252人受講。 ②市民自主講座31講座開講。 ③にぎわい創出事業(約600人参加)、ハートフルスクエアG情報誌の発行(6月、9月) ④市民活動ルームを運営(延べ6,842人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(602件の相談、106件のボランティアコーディネート)。 2. 男女共同参画推進業務 ①プラチナ世代応援セミナー事業など5事業開催、延べ613人受講。 ②「岐阜市女性センターNEWS」5号発行(8月)。 ③ 男女共同参画週間事業など3事業開催、延べ1,942人受講。 ④ 電話・面接相談など3事業開催、延べ相談件数636件(電話相談:370件、面接相談:207件、大相談会:59件)。 3. 市民芸術文化振興業務 ①市民文化祭(美術展覧会・芸術祭・文芸祭)の開催及び開催に向けての準備・調整 ②市芸術文化協会と連携し、岐阜子ども文化クラブ(2日間)を開催 ③文化会館を活用し、美術展覧会・芸術祭の開催及び開催に向けての準備・調整 ④芸術祭邦楽部門開催(入場者数:410人) ⑤岐阜市芸術文化奨励賞の準備・調整 ⑥市芸術文化協会との連携によるリレートーク(2回)、ましかどコンサート(1回)の開催、広報紙の発行(7月) 自主事業の実施 (市民芸術文化・スポーツ基金文化事業助成、上期応募6件中内定6件、下期応募9件中内定8件)
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) 〃 (15・10項目)(年2回) 〃 (12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回) 定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備保守点検(年2回) ④自動扉保守点検(年4回) ⑤パソコン及び周辺機器保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①7/30に実施 ②5/15、7/24、9/19に実施 ③毎週水曜日に実施 7/10に実施 9/9に実施 ④下半期に実施予定 ⑤下半期に実施予定 ⑥9/7～21に実施 ⑦5/15、7/8、9/24に実施 ⑧下半期に実施予定 ⑨下半期に実施予定 ⑩下半期に実施予定 ⑪下半期に実施予定 定期点検業務 ①保全点検:4/23、7/30に実施 リモート点検は毎月実施 ②5/7、5/28、6/25、7/30、8/27、9/24に実施 ③6/25に実施 ④6/25に実施 ⑤6/25、9/24に実施 ⑥9/25に実施 ⑦7/30に実施 ⑧5/28、6/25、8/27、9/24に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応、予め危険箇所のチェックなど、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規程により適切に実施している。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなど行っている。 ③関係法令を遵守し、運営している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間: 4/8～14、5/15～21、6/22～29、7/1～7、8/22～26、9/1～7 アンケート総数: 239件
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室 4.6%、中研修室 8.8%、研修室50 11.7%、研修室30 5.8%、小研修室1 13.0%、小研修室2 12.5%、小研修室3 10.0%、小研修室4 13.0%、和室研修室1 3.8%、和室研修室2 6.3%、音楽スタジオ大 2.9%、音楽スタジオ小1 1.7%、音楽スタジオ小2 1.7%、クラフト室 4.2%、パソコンルーム 0.0% ○スタッフの対応について 満足 75.7%、やや満足 8.4%、ふつう 15.9%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ○施設や設備の管理状況 満足 68.3%、やや満足 14.8%、ふつう 15.6%、やや不満 1.3%、不満 0.0% ○全体的な満足度 満足 73.1%、やや満足 11.4%、ふつう 13.0%、やや不満 1.7%、不満 0.8% ※アンケート回答者の割合
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・通路に人が大勢おり通りづかった。大勢の利用者がある場合は、別の部屋を予約して控室とするなど整理してほしい。 → 利用者の皆様には、施設の利用について他の利用者の方のご迷惑とならないよう配慮をお願いしております。予約の際にも利用人数や催しに合った施設を案内しておりますが、改めてお願いしていきます。また、施設の利用について、何かお気づきの点がございましたら、すぐにスタッフへお声がけください。 ・毎月、同じ曜日で練習しているのに月3回だけというのが辛い！ → 施設としては有難いことに、非常に多くの方にご利用いただいており、曜日や時間帯によっては予約が困難な状況となっております。できるだけ多くの方に平等にご利用いただくため、月3回までの予約とさせていただきます。ただし、利用希望日が1週間以内であれば、月4回以上であっても予約いただけます。 ・展示があるのに、上の電気が消されていて見にくいと思います。 → 大変ご迷惑をおかけいたしました。当館では岐阜市の環境アクションプランに則り節電に努めており、節電の一環として一部の照明を消灯しております。今後はこのようなことがないよう、節電に努めつつも明るい環境づくりに努めて参ります。今後とも何かお気づきの点がございましたら、職員までお知らせください。 ・中研修室のDVD接続の手順(マニュアル)が分かりづらいです。写真など変えて頂けたら助かります。 → ご不便をおかけして申し訳ございません。すぐに確認し、新しいマニュアルを作成いたしました。ご活用いただければと思います。また、何かご不明な点がございましたら職員までお気軽にお申し付けください。今後も利用者の皆様にとって使いやすい施設となるよう努めて参ります。 ・トイレの床が汚い。もう少し美しくならないか？また、となりの声が大きく聞こえて気が散る。 → ご不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。利用のない時間を見計らい清掃を行っておりますが、気になる汚れ等がありましたら職員や清掃スタッフが対応いたします。お気づきの点がございましたら、職員までお声がけください。また、研修室については、壁1枚で隣り合わせになっており、声が聞こえてしまう場合があります。利用者の皆様には大きな音での研修は控えていただくようお願いしておりますが、このような時は職員より隣のお部屋にお声がけいたしますので、お申し付けください。 ・今日、初めてですが、昨日に使用した団体が机を原状復帰するのが不十分であった。 → 申し訳ございません。利用された方へは、利用後に清掃・施錠等のチェック表を記入いただくことで原状復帰をお願いしておりますが、気になる点がございましたら職員や清掃スタッフが対応いたします。お気軽にお申し付けください。また、ご利用方法につきましては引き続きお願いしてまいります。 ・最近いつもより通路が暗いように思います。となりの施設からくると休館しているかと思います。 → ご不便をおかけし申し訳ございません。当館では岐阜市の環境アクションプランに則り、節電に努めております。節電の一環として一部の照明を消灯しております。今後は、節電に努めつつも明るい環境づくりに努めて参ります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。 ・机が毎回ガタガタです。 → ご不便をおかけして申し訳ございません。今後の修理を予定しておりますが、それまでは予備の机を設置いたしますのでご利用いただければと思います。また、設備のご利用について、ご不明な点等がございましたら、お気軽に職員までお申し付けください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。 ・研修室の丁度いい部屋がとれない為、研修室50をとりましたが大きすぎます。研修室30くらいの部屋がもっとあるといいと思います。 → ご意見ありがとうございます。当施設の研修室で、研修室30と同規模の部屋はクラフト室となります。クラフト室は会議等を目的とした研修室とは部屋の仕様が異なります。部屋の仕様をご理解いただいた上で利用を希望される場合は、窓口でご相談ください。 ・PCの会場予約開始時間が早朝5時、早すぎなので7時30分くらいにしてほしい。おねがいします。 → 現在、「岐阜市公共施設予約システム」はパソコンや携帯電話から予約することができる方法です。通常は24時間利用できますが毎月1日(1月のみ4日)の5時から、3ヶ月先の予約受付の開始となります。これは多くの方が「仕事や学校へ出かける前に利用できる」程度として、この時間とさせていただきます。朝早くご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。 ・机がもう少し軽いといいんですが。(和室利用者) → ご意見ありがとうございます。備品は使用できなくなったものから順次交換を行っております。和室の備品につきましても、同様に交換しております。すぐには対応致しかねますが、次に交換する際の参考とさせていただきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	S	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	S	S	S
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	A	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	S	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	S	S	S
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組めているか	S	S	S
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組めているか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	S	S	S
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	SS	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	S	S	S
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民参画部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	S	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み
に対する評価

生涯学習センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「**第3次岐阜市生涯学習基本計画**」「**岐阜市文化芸術指針**」に基づき、必要に応じて**所管課の指示を仰ぎながら**、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。

<実施事業>

生涯学習係

- ・ **ハートフルレクチャー**では、北海道命名150年の節目に「北海道と名付けた男～松浦武四郎の探検とアイヌ民族との出会い～」を、昨年亡くなった絵本作家かこさとしを偲んで「かこさとし 創作の原点」を、社会問題化するフェイクニュースの脅威を伝える「フェイクニュースを科学する～拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダの仕組み～」を実施した。特に「かこさとし 創作の原点」では、**岐阜市図書館分館と協力して特別コーナー「かこさとし」を設置し**、講座受講者だけでなく施設利用者に対しても学習機会を発信した。
- ・ **ふるさと発見講座**では、古地図を片手に散歩してふるさとを再発見することがブームになっている中、『岐阜地図さんぽ』の執筆者3名を講師に迎え「岐阜地図さんぽ」を3回に渡って実施した。3人の講師が異なる視点で岐阜市の変遷について講演し、好評を得た。
- ・ **岐阜地方裁判所と連携**し、裁判員制度10年になる5月21日に合わせ「裁判官が語る！裁判員制度と裁判員の仕事や役割」を実施した。裁判官だけでなく**裁判員として裁判に参加した方2名を招き**、制度だけでなく実際に感じたことを話していただいた。また、ハートフルスクエアGにて、**裁判員制度を紹介する展示と紹介アニメ放映、岐阜市図書館分館と協力して特別コーナー「裁判員制度10年」を設置し**、講座受講者だけでなく施設利用者に対しても学習機会を発信した。
- ・ **岐阜市立女子短期大学と連携**し、社会問題、地域課題ともなっている認知症への不安に応えるため「認知症の理解のために」を2回に渡って実施した。基礎知識から予防法、治療法、介護時のコツなど、市民のデマンドに沿った内容を提供できた。
- ・ **中高生を対象としたボランティア講座「中高生のボランティア～ここから学ぶ社会のレシピ～」**では、前年度希望活動の集中によって落選者が増えた事をふまえ、**団体の受入人数と日程を増やし、受講人数を増やした。安全面も考慮し、引率職員を増やし、AEDや熱中症対応グッズなどを携帯し、リスクマネジメントを強化した。**最終回のフィードバックでは、受講者が互いに意見交換することで経験の共有を図った。また、講座終了後に行った活動紹介の展示を、ハートフルスクエアGとメディアコスモスにおいて実施し、広く活動の周知を図った。受講者には、ハートフルフェスタやドリームシアター岐阜でのイベントにボランティアとして活動していただける機会を整えた。
- ・ **生涯学習によるまちづくり人材養成事業**では、地域のために自分の力を活かしたい、活動を発展させるためのヒントが欲しいという方を対象に、様々な視点でまちづくりに取り組んでいる講師から実践例を学ぶ「まちの元気の仕掛け人(全4回)」を企画し、「第1回 子ども食堂の現状と課題」を実施した。
- ・ **市民自主講座の開講支援**として、ハートフルスクエアGにおいて「講座紹介ポスター展」を実施することで開講率を向上させた。講座実施中にサークル作りや展示発表を勧めたことで、講座終了後も継続して活動するなど、市民講師育成に寄与した。
- ・ **新たに市内のボランティア・市民活動の中間支援組織である岐阜市社会福祉協議会岐阜市ボランティアセンター、岐阜市民活動交流センターとの共催で**ボランティア講演会「ボランティア活動を無理なく楽しく続けるために～アサーティブなコミュニケーション方法を知ろう～」を実施した。ボランティア活動者や活動をしたいと思っている方々に情報提供を行った。
- ・ 相談コーナーの地域活動情報システム「まなバンク」を、市民がより利用・活用しやすいようなシステムに変更し、運営を開始した。昨年度上半期と比べ、**相談件数210%(287→603)、コーディネート件数145%(73→106)に増加した。**

- ・ **市内小中学校PTA会長会や母親学級会長会**においてまなバンクの活用をPRした。その後、PTA会長や公民館から相談があり、**コーディネートにつながった。**
- ・ メモリアルセンターで開催されたFC岐阜の岐阜市ホームタウンデーにおいて、**岐阜市ねりんピック推進室と連携してブースを出展した。**地域との連携を深め、にぎわいも創出し、生涯学習の様々な情報発信につながった。

文化振興係

- ・ **美術展覧会**において、来場者・出品者それぞれの満足度向上につなげるため、展示作品における**写真撮影の原則解禁**に向け、展示方法や会場構成の検討を行い、準備を進めた。
- ・ **市民芸術祭演劇の部**において、**人形劇センターの参加を強く呼びかけるなど、演劇鑑賞の機会と対象世代の拡大を図り、実施した。**また、邦舞の部では、日本舞踊を身近に感じてもらうため、新たに出演者を広く市民から募集し、公演に向けて練習を始めた。
- ・ **文芸祭(一般の部)**全体では、昨年度に比べ応募人数(+182)・点数(+271)共に増加した。8月19日に審査を終え、11月に表彰式と入選作品集を発行予定である。

<その他>

- ・ 生涯学習・ボランティア相談コーナー**担当職員のスキルアップ**のため、**ボランティアコーディネーションカ2級を1名、3級を2名が取得した。**
- ・ 相談内容が多様化するなか、情報収集のため高校生ボランティア・アワード2020、岐阜清流病院緩和ケア病棟ボランティア講座に参加した。

<施設管理>

- ・ 利用者からの要望を基に、改善するべきことを検討し、以下の事項に取り組んだ。
 - ① 大研修室・中研修室・音楽スタジオ(大)の**利用者向けマニュアルの改良**
写真を新しいものに変更し、映像機器(大研修室・中研修室のみ)や音響機器に触れる機会の少ない利用者にも分かりやすいように改良した。
 - ② 大研修室の椅子の特別清掃
利用者により快適に利用いただくため、椅子のクリーニングを実施した。
 - ③ 施設北面「ハートフルスクエアG」サインの塗り替え
2階連絡通路開通に伴い施設の更なる**認知度向上を図るため、サインの塗り替え**を実施した。
- ・ 「生涯学習センター」「女性センター」「岐阜市民文化祭」それぞれで、**インスタグラムの開設**
若年層を含めた広い年代への情報提供と施設の認知度向上を図るため、「**生涯学習センター**」「**女性センター**」「**岐阜市民文化祭**」において、**インスタグラムを開設した。**

- ・事故防止対策としての日常点検で見つかった危険箇所は迅速な改善を実施した。
 - ① 3階駐車場内の危険箇所にカラーコーンを設置し、**利用の安全性を向上**させた
3階駐車場出入口での事故等を防ぐため
 - ② カーエレベーター出入口の塗装
剥がれ・傷が見つかったため
 - ③ 1階 センターモール照明カバー修繕
劣化によりアクリル板が歪み、落下しやすい状態となっていたため、**利用者への安全面を考え補強修繕**を行った。
- ・防犯強化策として、防犯カメラによる抑止力効果を最大限に生かすため、職員や警備員が日常的に巡回を行い、共に置引き防止等の注意喚起に努めた。また、不審者情報等をハートフルスクエアG全体で迅速に情報共有し、連携して対応している。
- ・**気候の影響**で上半期の電気使用量、空調用ガス使用量は**外気温による変動**が大きかったが、館内空調の**適切な温度管理**および館内照明の**こまめな消灯・間引きを確実に**行い、全体的には前年度上半期の使用量を下回った。また、今年度も電力供給業者を変更。対前年度同期比において、**18%の使用量縮減・26%の経費縮減**ができた。
- ・9月には残暑の影響で音楽スタジオ(大)などで冷房が効き辛い日もあったが、**すぐに工業用扇風機を設置**するなど、迅速に対応し、利用者への影響を最小限にとどめた。
- ・暑さによるカーエレベーターの停止や落雷による電話の故障などが起きたが、迅速に対応した。
- ・施設の平等利用を確保するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施している。また、予約システムへの登録についての案内を窓口・電話等で積極的に行った。

<リスク対応>

- ・職員が**著作権保護に関する研修**を受けるなど、リスクマネジメントに取り組んだ。
- ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。
- ・非常時に備え、各職員が適切に行動できるよう図書館や消費生活センターなどの各施設と連携し、避難訓練(5月)を実施した。また、**防災士/防災リーダーを中心に**、緊急時・災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。
- ・不審者が侵入した際の利用者の安全確保を目的に、職員が**防犯研修へ参加**。参加した職員は所内で情報共有を行い、不審者への対応やトラブルを未然に防ぐための対策について共通理解を図った。
- ・**“応急手当協力事業所”登録施設**として職員全員がAEDを的確に使用できるよう、普通または**上級救急救命講習**を受けるなど、施設内のみならず、**駅周辺での急病人や負傷者の応急手当、救急隊到着までの応急措置**を行っている。また、**熱中症対策研修会に参加**した職員が所内で情報共有を行うなど、所内全体で安全管理に取り組んだ。

<受入れ事業>

- ・岐阜市からの依頼を受けインターンシップ受け入れを行った。令和元年度は8月5日から8月30日の期間で8名を受け入れ、生涯学習センター・女性センター等で様々な体験の場を提供した。
- ・JR駅周辺施設連絡協議会との共催で小学生の職場体験の場として、夏休みに生涯学習センターで**23名(昨年度6名)の受け入れ**を行い、館内施設で学びの機会を設けた。

<その他>

- ・応急手当協力事業所として、地域の方の安全安心に貢献した。
- ・快適な公共空間を提供するためアダプトプログラムに参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。

女性センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「**第3次岐阜市男女共同参画基本計画**」に基づき、必要に応じて**所管課の指示を仰ぎながら**、主催事業の開催について計画通りに実施した。

<実施事業>

- ・「**プラチナ世代応援セミナー**」(4月)を開催。**男性の受講生が約2割**ほどあった。グループワーク形式で**カードを使った回想ゲーム**などを行ったことで、和気あいあいとした雰囲気の中で講座は進められた。**満足度は96%**と好評であった。
- ・「**女性の活躍応援セミナー**」(5～6月)を開催。今年度は再就職だけではなく**起業や副業を目指す方も対象**とした内容で計画し、定員30名に対し**約2倍の59名の応募**があった。多くの方が受講の機会が得られるように、**講師と相談の上54名を当選**とした。再就職、起業とそれぞれの目標に向けてのモチベーションを高めることができ、**満足度は100%**となった。さらに、講師によるキャリアカウンセリングの応募者が予想を大きく上回り、**当初予定していた枠を大幅に増やし**、個々の想いを行動に移してもらえよう後押しをした。講座を通して受講者同士が情報交換を行う姿などが見られ、各回の終了後に行った**交流会にも約3分の1の受講者が参加**した。
- ・「**女性の生き方・働き方大相談会**」(5月)を開催。前回応募が少なかった「子どもの悩み、心配ごと」の代わりに「**体質タイプ別で見直す食生活**」を新たに取入れたところ、定員(8名)を超える応募があった。その他の8つの相談においても定員の9割を超える応募があった。また「**虹色LGBT**」は**社会にとって重要な問題**であることから年1回は行うこととし、今回は面接でなく**電話相談として実施**した。
- ・「**男女共同参画週間事業**」(6月)の講演会では、今まであまり取り上げてこなかった**政治分野をテーマ**に開催。昨年5月に施行された「政治分野における男女共同参画推進法」の成立に貢献した**三浦まり氏を講師**に招いて実施した。**高校生を含め幅広い年齢層からの応募があり**、岐阜市をはじめとする**議員8名(うち女性議員7名)**も聴講した。**満足度は96%**と好評であった。講演会後の**交流会にも議員6名**が参加し、活発な議論が交わされた。
- ・**新たな事業「男女共同参画つながり創出事業」**の一環として、**男女共同参画週間に合わせた展示(6月7日～24日)**への参加を呼び掛けたところ、ハートフルネットぎふ会員団体1団体、前年度の「女性の活躍スキルUPアカデミー」受講者1名が展示を行った。それぞれの活動を周知してもらう機会を提供した。
- ・「**男女共同参画出張セミナー**」を大垣女子短期大学(テーマ:新しい時代を生きる 女性たちへ)と**クラーク記念国際高等学校**(テーマ:21世紀、すべての人が共に輝ける時代に！)からの依頼で実施した。**若い世代への男女共同参画社会の啓発**につながった。
- ・「**ココロとからだ・性の健康関連講座**」(7月)を開催。定員30名に対し**41名の応募**があり、講師の了承をえて**全員当選**とした。近代のLGBTをめぐる出来事や現状を報道やTVドラマの内容を通してわかりやすく学ぶことができ、多様な性のあり方について考えさせられる講座となった。**満足度も96%**と高かった。

	・ 新たな事業「男女共同参画つながり創出事業」として、前年度の「女性の活躍スキルUPアカデミー」受講者5名が施設利用者を対象としたミニイベントを企画し、「みんなでまなぼっ(7月・2日間)」を開催。日時の設定やチラシの作成、広報活動など、運営全般に関わって取り組んだ。当日はそれぞれがこれまでに培ってきた知識や資格等を活かした無料の体験ブースを出展。2日間で60名を超える参加者があり、出展者にとって今後の活動につながるイベントとなった。 ・ 男女共同参画つながり創出事業「みんなでまなぼっ」の事後交流会(8月・2回)を実施。ブース出展者が集まり、企画から開催までの運営全般について自由に意見を出し合った。そして、それぞれの成果課題を交流する中で、イベントの継続を希望する声が多かったため、再度の開催(第2期として9・11月)を計画した。また、新たな企画提案(11月に開催予定)もあり、今回の事業を通してのつながりを創出した。 ・ 「ワーク・ライフ・バランス事業」(9月)を開催。“男性育休取得者”の講師より、体験談をもとにした具体的な成功例・失敗例などを聴くことができた。更に様々な価値観を書いたカードを使って、参加者それぞれが自分に合った家事シェアを考える機会を提供した。満足度も100%と高かった。 ＜その他＞ ・ 男女共同参画推進拠点施設として女性の活躍をより一層支援するため、職員がキャリアコンサルタント(国家資格)の資格を取得した。今後の女性における職業生活設計または職業能力の開発及び向上に寄与したい。 ・ 相談員対象の研修に積極的に参加。研修後には情報共有を図り、職員の専門性の向上と相談業務の拡充に努めた。 ○「考え方のクセを変えるコツ」(5月10・24日、主催:岐阜県男女共同参画・女性の活躍センター) ○「男女共同参画事業に携わる方のための基礎・実践研修」(7月25・26日、主催:全国女性会館協議会) ○「相談者・相談員ともに大切な自己尊重感」(9月20日、主催:岐阜県男女共同参画・女性の活躍センター) 他 ・ 6月に実施した「男女共同参画週間事業」の講師三浦まり氏の推薦により、「2019年度 男女共同参画推進フォーラム」(8月29日～31日、主催:国立女性教育会館)に職員が招聘された。シンポジウムにおいて、「政治と男女共同参画」に関わる取り組みの実践的な事例として当センターの事業を発表した。このフォーラムには全国の男女共同参画に携わる方が参加しており、当センターを周知してもらう良い機会となった。 ・ SNSの普及に応じた情報提供として、より多くの市民が手軽に講座やイベントの情報が得られるように「女性センター」のInstagramを開設した。
前回までの意見の 取組み状況	生涯学習センター ・ 講座受講者のアンケートなども参考にしながら講座企画を行うことで、市民ニーズに沿った事業展開に努めている。 ・ メモリアルセンターで開催されたFC岐阜の岐阜市ホームタウンデーにおいて、岐阜市ねりんピック推進室と連携してブースを出展した。地域との連携を深め、にぎわいも創出し、生涯学習の様々な情報発信につながった。 ・ 今年度の生涯学習によるまちづくり人材養成講座は、昨年度の3回から4回に増やし、「子ども食堂」「地域活性化」「障がい者」「不登校」をテーマに地域づくり、まちづくりの推進役を養成している。上半期に開催した「子ども食堂」の回には、定員を超える応募があったほか、10～90代の幅広い年代の市民が受講した。 女性センター ・ 昨年度まで行ってきた「受講者活動支援」を、新たに「男女共同参画つながり創出事業」として事業計画に位置づけ取り組んだ。受講者の提案を受け、上半期には施設利用者が自由に参加できる体験ブースを設けたミニイベントを3回実施した。 ・ SNSの普及に応じた情報提供として、より多くの市民が手軽に講座やイベントの情報が得られるように「女性センター」のInstagramを開設した。 ・ 男女共同参画推進拠点施設として女性の活躍をより一層支援するため、職員がキャリアコンサルタント(国家資格)の資格を取得した。今後の女性における職業生活設計または職業能力の開発及び向上に寄与したい。また、相談員対象の研修へ積極的に参加することで、相談業務の拡充を図った。
今後の取組み	・ 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行っていく。 生涯学習センター ・ 生涯学習拠点施設として、「生きがいある豊かな暮らしの実現(生涯学習の推進)」を目指し、引き続き職員全員が共通理解のもとで、施設運営及び事業実施に取り組む。 ・ 施設利用者や講座受講者からいただく声に可能な限り応えられるよう、内容によっては所管課の指導を受けながら迅速な対応を心がけ、公共施設としての役割を果たしていく。 ・ 生涯学習拠点施設としての機能を活かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。 ・ 「生涯学習によるまちづくり人材養成事業」では、様々なテーマを講演会形式で開催することで多くの市民に受講していただき、将来的に岐阜市において地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成に努める。また、今後、受講した方を対象としてワークショップの開催に取り組む。 ・ 「市民自主講座」の開講支援事業において、開講講師や受講者アンケートなどで得た意見を基に開催時期や回数などの運営方法の工夫改善に取り組み、次年度の計画を進める。 ・ 「美濃中仙道ふるさとまつり」などの地元自治体の祭り等への協力やハートフルフェスタ2020の実施やホームページ・Instagram・情報誌などを活用し、市民のニーズに応じた情報の発信に努める。また、みんなの森ざぶメディアコスモスやコミュニティセンター、公民館など地域に密着した施設と連携を図ることで、相乗効果による情報の共有・発信の充実に努める。 ・ 生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、地域活動情報システム「まなバンク」を活用して、地域人材の活性化に努める。 ・ 美術展覧会を文化センターで開催するにあたり、滞りなく実施できるよう現場を確認しながら計画を進めると共に多くの方々にご覧いただけるよう、また満足していただけるような展覧会を目指して、臨機応変に対応できる体制を整える。

女性センター

- ・男女共同参画拠点施設として、「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、**男女共同参画社会の実現を目指した講座の充実**を図る。
- ・岐阜市民総合体育館との共催で「**バランスボールde産後メリハリbody**」(10月)を開催予定。この事業では「**男女共同参画つながり創出事業**」の一環としてハートフルネットぎふ会員団体に協力を求め、**新たなネットワークの構築**を目指す。
- ・日本政策金融公庫との共催で「**クラウドファンディング活用術**」(12月)を開催予定。**起業・創業相談**も同時開催し、**女性の活躍推進**事業の拡充を図る。
- ・下半期においてもハートフルネットぎふ会員団体及び講座受講者の提案を受け、随時「**男女共同参画つながり創出事業**」を計画・実施する。活躍の場を提供するだけでなく、事業を通しての**新たなつながりが創出**できるように支援する。
- ・男女共同参画社会を推進するための**新たな啓発誌及び啓発パネルを作成**する。そのために、多様な視点での情報収集に努める。
- ・**Instagramを活用**した情報発信では、より多くの方に周知されるように関係団体や起業・創業を目指す講座受講者等に積極的に働きかけていく。また、互いに**情報を共有**していくことで**ネットワークの広がり**を目指す。

●所管課の意見

生涯学習センター

- ・講座については、多くの講座で定員以上の応募があり、かつ、時代を反映した新しい内容の講座の企画・提案等を進められており、高く評価できる。
- ・利用者アンケートを毎月実施しており、アンケートに基づいて、利用者の安全を第一に考え、施設修繕、改修を行っており、評価できる。
- ・施設の日常点検及び休館日の定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために実施されており、高いレベルで対応できていると思われる。
- ・リスク対応として、非常時に備え、各職員が適切に行動できるようにしている。防災士／防災リーダーの資格を持った職員を中心に避難訓練を行い、緊急時、災害時の対応をした点が評価できる。
- ・新たに「Instagram」を開設し、時代に合った対応をしており評価できる。このコンテンツを、さらに有効活用し、利用者の増加につなげたい。
- ・電力供給会社を今年度も改めて、変更し、電気料金の縮減を図り、その分館内の必要な修繕などへ充てており、評価できる。
- ・文化振興業務は、市民及び団体との協働により事業が進められており、上半期は主に市民文化祭の開催に向けて準備を着実に進めている。
- ・美術展覧会においては、今年度から会場内(一部除き)での写真撮影を許可するように委員等に諮り、来場者、出展者への満足度向上を目指している。また、芸術祭の演劇部門においては、未就学児でも楽しんでもらえるような幼児向けの演劇を開催する取り組みを行っている。今までの経験やノウハウを活用して改善等を行っている点を評価する。ただし、事業の多くは下半期に集中しているため、円滑な事業の完了に向け最大限努力いただきたい。

女性センター

- ・岐阜市の基本計画に則した事業展開に努め、事業内容も参加者の意見を反映させるなど、既存業務の改善に取り組む姿勢は評価できる。特に、「男女共同参画つながり創出事業」では、セミナー参加者と施設を利用する団体、さらには関係機関との連携・繋がりを意識した事業展開に取り組む、参加者のネットワークづくりや活躍する場の提供など、フォローアップに注力した事業で、継続的な女性活躍に資する取り組みで評価できる。また、応募率、受講後満足度が大変高い結果となっていることから、ニーズにあった事業展開がされていることは、大変評価できる。
- ・課題となっていた若い世代の利用者を増やすため、新たに「Instagram」を開設し、施設やセミナーの周知を図る手段は、社会の潮流にあっており大変評価できる。今後は、この手段をより有効的に活用し、利用者の増加に繋げていただきたい。
- ・国立女性教育会館主催の「男女共同参画推進フォーラム」での事例発表をされたことは、全国でも先進的な取り組みをしているという評価をいただいたと考えられる。これを励みに、さらなる施設の飛躍につなげていただきたい。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・施設の管理においては、施設の安全に留意した管理がなされている。
- ・全体を通して、タイムリーな講座の企画をされていること、また、申し込んだ人全員に対応したことは評価できる。